

春一番 4千人快走



発行所
北海道新聞社

郵便番号 060-8711
札幌市中央区大通西3-6
電話 011(221)2111
© 北海道新聞社 2013

速報

インターネットで道新ニュース
www.hokkaido-np.co.jp

ご購読申し込みは
0120-464-104

掲載写真を有料でお分けします

掲載写真を個人観賞用の限り有料でお分けします。
お申込み、お問い合わせは「道新写真サービス」(電話011-210-5805)受け付けは月々金曜日(祝日を除く)の9時30~17時まで

第26回伊達ハーフマラソン



春一番の田園コースに向け、だて歴史の杜総合公園を一斉にスタートしたハーフマラソンの参加者

男子富山さん 女子宮田さんV



男子トップでゴールした富山潤司さん

第26回春一番伊達ハーフマラソン(実行委、北海道新聞社主催)が21日、伊達市のだて歴史の杜総合公園を発着するコースで開かれた。3歳、5歳、10歳とハーフマラソン(21・0975キロ)の4種目に、昨年とほぼ同じ合計4088人が出場した。ハーフ男子は一般A(40歳未満)の富山潤司さん(30)と旭川市、同女子は一般A(50歳未満)の宮田博美さん(41)と千歳市が、それぞれトップでゴールインした。

昨年以上に参加者が増えるというコースの半分を占める有珠山麓のサイクリングロード(舗装部の幅3メートルが過密になり、路外転落が心配されるため、昨年の人数をめぐりに2500人を出場者の上限とする定員制を導入した。一方、JR伊達駅別駅付近の道道区間で、昨年まで2年続いた狭い市道への回りは、道の橋りょう(錦橋)架け替えが終了し、本来のコースが復活した。

大会は、出場6、7回目というSTVラジオの「ほそなりテイラー喜瀬浩さん(65)が「全道全国のランナーとゴールを目指すことを誓います」と選手宣誓し、初めにハーフの男子2106人、女子448人が、公園内の駐車場からスタートした。商店街から新しい錦橋を経て、有珠山や昭和南山を左前方に見ながらサイクリングロードを北上。関内の田園地帯では、今春から本格生産に入った伊達イチゴの栽培ハウス44棟が並ぶ「イチゴ団地」横の農道を駆け抜けて、市街地のゴールに戻った。トップのタイムは男子の富山さんが1時間12分52秒、女子の宮田さんは1時間25分14秒だった。

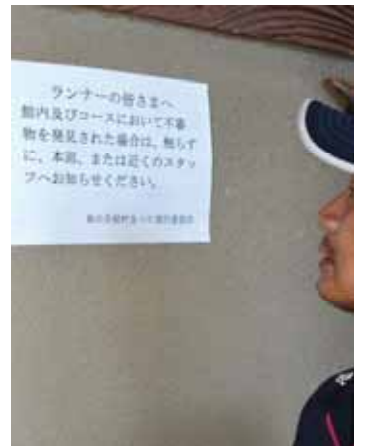
同時開催で12回目となった全道小学生伊達大会は、伊達7チーム、札幌4チーム、室蘭と登別が各5チーム、千歳2チームの計19チームが出場した。陸上競技や柔道、スキージャンプの各種少年団、児童館のスポーツクラブなどさまざまなグループが、小学4年以上で男女5人のチームを組み、10歳競技と同じコースを五つの区間に分けてたすきをつないだ。

雪が残る紋別岳を背に、中心街の錦橋を駆け抜けるハーフマラソンのランナー



声援受け さわやかな汗

市街地を抜け田園地帯のサイクリングロードを快走



この大会では
2回目の選手
宣誓をした人
気アウンサ
ー喜瀬浩さん
ポストンマラ
ソン爆破テロ
の影響で、休憩
所に張り出さ
れた不審物注
意の呼び掛け

全道小学生駅伝の応援で盛り上がる沿道



3時の小中学生種目で展開されたゴール前の競り合い